



相談電話

(おなやみなら)
027-221-0783

群馬いのちの電話だより

2014.6 No.54

編集・社会福祉法人群馬いのちの電話 広報委員会
住所・〒371-8691 前橋中央郵便局私書箱6号
電話・事務局 027-221-1880 FAX027-220-5666

電話の向こうに居る無数のひとびと

社会福祉法人群馬いのちの電話 運営委員長 戸部 正行

「いのちの電話」に関わってまだ日も浅く、経験も乏しい私にとって、運営委員長の役は重い。様々な躊躇の中で仕方なく、この重責を引き受けてしまった。ささやかな経験と努力によってしばらくの間、相談員の皆さまの環境整備の仕事に取り組みたいと思う。

電話を受けることが最も大切なこの「いのちの電話」は、第一に電話を掛けて来る沢山の無名な、しかし、実体のある存在に支えられている。どのような相談であれ、その時には相談したいこと、こころ、情熱がある。まさに生きようとしている姿がある。誰かとかかわりたい気持ちがある。引っぱり無しに鳴っているコール音はそれだけ沢山の人が、こころを話したいのだ。どうにかして自分の命を支えたい願いが込められている。これらの声を受け止める相談員は、生身の生命の先端に向き合っている。普段はこんな風には自覚していないが、多くの困難を抱えながらも相談員を続けられる原動力はここにある。ボランティアの本来の意味は【お互いに支え合う】ことにあるのだと思う。

それぞれの相談員が独自の人生経験を経て、家庭や仕事、住んでいる場所など異なりながら、電話を受けに通ってくる。日々、研修を受ける。

そのために、何時間も時間をかけてやってくる人も沢山いる。お互いにそれぞれの人生に興味と尊敬の眼差しを持っている。何の報酬もないのに何故？と外には見えるが、どこか心の奥に深い喜びが潜んでいるに違いない。人間に対する限りない興味、優しさであろう。

今年の11月13日から3日間、「いのちの電話相談員全国研修会ぐんま大会」が磯部ガーデンをメイン会場として開催される。相談員全員で全国の相談員を受け入れるために様々な準備を進めている。「群馬いのちの電話」では「開局20周年記念事業」を終えたばかりだが、この全国大会を成功させるために相談員全体で力を合わせて取り組んでいる。皆さまの努力に感謝したい。全国から集まってこられる仲間との交流は、この仕事の強い支えとなり、新しい出会いをもたらし、明日からの元気を得られることと期待している。

この「いのちの電話」の活動は、県、企業、個人、そして沢山の資金ボランティアの方々の支援に支えられている。今後期待することは相談員仲間の増大、若い相談員の増加、そして電話受信24時間体制の実施である。どうぞよろしくお願い致します。

相談電話

(おなやみなら)
027-221-0783

相談受付時間 午前9時～午後9時30分 (年中無休)

深夜

☎027-221-0783

毎月第2・4金曜日は24時間受信

毎月第1・2・3・4金曜日

受付 (9:00～夜中0:00)

フリーダイヤル(毎月10日)

0120-738-556(8:00～翌8:00)